

赤い羽根「山形県沖地震 ボランティア・NPO 活動サポート募金」助成事業 助成決定にあたって

はじめに

令和元年6月18日に発生した山形県沖地震は山形県・新潟県で人的・物的な被害が発生しました。

この地震災害により被害を受けられた方々には謹んでお見舞い申し上げます。また、被災された方々と被災地域の復旧を心よりお祈り申し上げます。

被害の大きかった山形県、新潟県では、発災直後から行政や社会福祉協議会、自治会、民生委員、ボランティアなどにより、丁寧な安否確認や戸別訪問を通じた状況確認が行われました。

そうした被災者への困りごとに対して、地元を中心としたボランティアや被災地外から NPO・ボランティア市民活動団体が支援に駆け、支援団体間による情報共有を図るためのネットワーキングの場づくりも行われていました。こうした状況を受けて、赤い羽根の中央共同募金会では、これまで災害を特定せずに「災害ボラサポ全般」に対していただいたご寄付を活用して、被災地で活動するボランティアグループ、NPO等を資金面で支援するため、「山形県沖地震 ボランティア・NPO 活動サポート募金」助成を実施することにしました。

当該助成においては公募ではなく、被災地で支援の中心となっていた県社会福祉協議会および全国災害ボランティア支援団体ネットワーク（JVOD）の推薦により、対象団体を選定し、11月7日に助成先を決める運営・審査委員会（以下委員会）を開催し、6件、合計111万円の助成を決定いたしました。

1. 第1回応募状況と助成決定状況

「山形県沖地震 ボランティア・NPO 活動サポート募金」では、6件、合計129万円の応募がありました。

今回の応募では、主に支援団体間による情報共有を図るためのネットワーキングの場づくりや被災地域の情報収集など活動が行われていました。

その活動地域は新潟県で7か所、山形県で5か所（1団体で複数個所の活動あり）の活動が行われました。

本助成の決定にあたっては、発生時からの活動から遡っての助成も行うこととしており、活動団体や現地の状況を確認するため、必要に応じて聞き取り調査をさせていただいたうえで、審査を行いました。

2. 最後に

山形県沖地震では被害が局所的だったこともあり、支援活動は収束に向かいました。ご寄付をいただきました企業・個人のみなさまには深く感謝するとともに、今回、災害ボラサポ全般にご寄付をいただいたことから、こうした初動の取り組みにもいち早く助成ができました。今後も災害

規模の大小にかかわらず支援活動を行うボランティアグループ・NPO に対してその活動費用の助成をしていきたいと考えています。引き続きのご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

また、助成が決定した団体の皆さまにおかれては、寄付者の方がたから託された貴重な財源による助成であることを理解いただき、有意義な活動を展開されるよう望みます。

災害ボランティア・NPO 活動サポート募金
運営審査委員会 委員長 山崎 美貴子